

地質ニュース

第565号 2001年9月

口 絵

インカの建造物	石原 舜三・1
円上島の球状ノーライト	濡木 輝一・4

室戸海洋深層水とは?


一室戸海洋深層水の研究と利用の現状-	谷口 道子・6
風送ダストプロジェクトの概要と地質・地球化学におけるエアロゾル研究	金井 豊・11
北京北方, 燕山火成活動の模式地にみる花崗岩系列と鉍化作用	石原 舜三・王 平安・渡辺 寧・24
近畿の石材(切石) - 笏谷石 -	小村 良二・35
ライマン雑記(19)	副見 恭子・42
国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会 -CEPAL/ECLAC-	村尾 智・53
現代短歌の中の地球科学 ~地質時代編~	森尻 理恵・56

地質標本館だより No.59	57
GEOLIS(日本地質文献データベース) CD-ROM版ver.3(1983-2000)公開のお知らせ	地質調査情報部地質情報管理室・61
編集後記	62

表 紙

マチュピチュ(老いた峰)とワイナピチュ(若い峰):マチュピチュは急峻なコルディレラの山中に当地の三疊紀チタン鉄鉍系花崗岩を使って建設された都市国家である。海拔2,280mの高所に僅かな平地を見いだして必要な生活環境が整えられている(口絵参照)。山麓が険しく熱帯雨林に覆われるため谷間からは見えず空からしか見えないので空中都市とも呼ばれ、またその発見も1911年と遅れた。現在では世界遺産に指定されている。

この地に至るには、リマからクスコにジェット機で飛び列車で山麓のペンテ・ルイナス駅(海拔2,000m)に下るか、クスコ空港でヘリに乗り替え山麓に入る。そこからはミニバスで急崖を切る砂利道を登る。帰りのバスは蛇行する道の角毎に、インカ道を走ってバスを追う少年が「グ・バーイ」と澄み切った声で叫び、送ってくれる。その努力たるや涙ぐましく、山麓に着くとついティップを弾みたくなるほどである。(写真と文:石原舜三)

 産業技術総合研究所
地質調査総合センター

Geological Survey of Japan / AIST

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 0298-61-3754

Fax. 0298-61-3569

<http://www.aist.go.jp/GSJ/>